

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ) |
|------------|-------------|---|-------------|---------------|---------|---|--|-------------------------------------|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | | | | |
| | 事務事業名 | | R3決算額(円) | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | | | |
| | | | 内 直接事業費 | 4 有効性評価 | 4 有効性評価 | | | |
| | | | 内 人件費 | 5 効率性評価 | 5 効率性評価 | | | |
| 1 | 農業の振興 | 農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。担い手への農地集積・集約化の推進、耕作放棄地の発生防止・解消、農地中間管理機構との連携、新規就農者の参入の促進等の現場活動を担う。 | 21,354,577 | 事務事業評価 | | ・農用地利用集積計画(農地の売買・賃借)の制度の周知・活用を推進し、農地の集積・集約化を図った。 ・不耕作地を含め貸付意向のある農地の有効利用を図るため、農業委員・農地利用最適化推進委員への意向情報の提供や農地バンク等の活用を推進した。 | 農業委員・農地利用最適化推進委員の更なる連携強化、関係部署との情報共有を図り、引続き農地集約化に関する制度の周知活動を行う。 また、離農等による不耕作地が遊休化しないよう耕作放棄地の発生防止対策や荒廃農地・荒廃施設の再生に向けた支援を行う。 | |
| | 30101020 | | 3,876,547 | 1 農業委員会事務局 | | | | |
| | 農地利用最適化推進事業 | | 17,478,030 | 2 河合 欽史 | | | | |
| | | | 17,934,865 | 3 高い | | | | |
| | | | 1,795,580 | 4 普通 | | | | |
| 16,139,285 | 5 普通 | | | | | | | |
| 2 | 農業の振興 | 農地の利用集積を推進し農地流動化に努め、農業者の経営基盤強化を図る。また、耕作放棄地の発生予防と解消に努め、農地の有効活用を図る。 | 17,170,642 | 事務事業評価 | | ・農地・園芸施設バンク事業における農地の仲介実績は増加しているが、長年耕作放棄され荒廃化した農地については、流動化が難しくなっている。 ・耕作放棄地再生利用補助制度は、コロナ禍の影響もあり、実績がなかった。 | 農地・園芸施設バンク事業は、農業委員会活動との連携を強化し耕作放棄地の発生予防と解消を図る。 ・耕作放棄地再生利用補助制度など、耕作放棄地対策を継続して実施し、荒廃農地の解消に努める。 | |
| | 30101030 | | 3,174,237 | 1 産業振興部 営農支援課 | | | | |
| | 営農支援課管理運営事業 | | 13,996,405 | 2 中神 嘉彦 | | | | |
| | | | 16,603,792 | 3 高い | | | | |
| | | | 3,915,561 | 4 普通 | | | | |
| 12,688,231 | 5 普通 | | | | | | | |
| 3 | 農業の振興 | 地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う活動組織に対して農地維持・資源向上(共同活動・施設の長寿命化)活動を支援する。 | 204,046,862 | 事務事業評価 | | 活動組織による農道、水路等の草刈、泥上げ等を支援し、農業用施設の適切な維持管理を実施している。活動組織が複雑な制度を理解し、適正な活動をする必要がある。 | 令和元年度～令和5年度の5か年計画に基づき、今後も円滑に事業を実施できるように、各活動組織に対し、年1回以上の説明会や勉強会を行う。事業を進めていく中で、疑問点や相談などを随時受け付し適切な指導を行う。また、令和6年度～令和10年度の新規5か年計画策定に向けて、各組織と調整を行う必要がある。 | |
| | 30101040 | | 196,276,340 | 1 産業振興部 農政課 | | | | |
| | 多面的機能支払事業 | | 7,770,522 | 2 山田 正勝 | | | | |
| | | | 202,716,503 | 3 高い | | | | |
| | | | 195,833,200 | 4 高い | | | | |
| 6,883,303 | 5 高い | | | | | | | |
| 4 | 農業の振興 | 農道舗装や排水路、用水路整備、区画拡大を行い、農業生産性や営農利益の向上を図るために土地改良事業を支援する。 | 33,187,643 | 事務事業評価 | | 和地太田地区の区画整理工及び道路工等、また実施設計を行うと共に、事業主体である愛知県・地元役員・地権者等と今後の事業スケジュールの調整を行った。 | 今後も、和地太田地区及び新規採択地区の区画整理工及び道路工等を行うにあたり、事業主体である愛知県・地元役員・担い手・耕作者等と細部にわたり調整を行い、事業の円滑化を図る必要がある。また新規採択地区については、地元役員・地権者等と調整しながら、整備を計画的に行う必要がある。 | |
| | 30102010 | | 29,999,923 | 1 産業振興部 農政課 | | | | |
| | 農地基盤整備促進事業 | | 3,187,720 | 2 山田 正勝 | | | | |
| | | | 35,999,696 | 3 高い | | | | |
| | | | 32,478,890 | 4 高い | | | | |
| 3,520,806 | 5 高い | | | | | | | |
| 5 | 農業の振興 | 堤防決壊時に、下流農地だけでなく民家等にも甚大な被害が予想されるため、県営土地改良事業により堤体等の改修を行い農業経営と民生の安定を図る。 | 25,701,236 | 事務事業評価 | | 農業用ため池管理保全法により防災重点ため池46ヶ所の再選定を行い、県営事業でハザードマップの作成から耐震診断を随時行った。 ・県営老朽ため池等整備事業(大正池地区)の促進を図った。 | 防災重点ため池46ヶ所の全ての耐震診断を行い、耐震性能が十分でない池に対して優先順位を決め、防災ダム事業の整備を計画的に行う。また老朽ため池等整備事業についても随時計画的に行うことで防災機能の強化を図る。 | |
| | 30102030 | | 21,263,430 | 1 産業振興部 農政課 | | | | |
| | ため池等整備促進事業 | | 4,437,806 | 2 山田 正勝 | | | | |
| | | | 16,572,967 | 3 高い | | | | |
| | | | 10,635,921 | 4 高い | | | | |
| 5,937,046 | 5 高い | | | | | | | |
| 6 | 農業の振興 | 地区内での開発による流出量の増大や排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下によるたん水被害を防止するため、排水機場の改築を行い、被害を未然に防ぐたん水防除事業を支援する。 | 68,879,794 | 事務事業評価 | | 県営たん水防除促進事業で整備する新天白排水機場の場内整備工及び旧排水機場の取壊しを行うにあたり、地元等と調整し事業の推進を図った。 | 農地への豪雨による、たん水被害を未然に防止することを目的に、愛知県・地元等と調整し、老朽化した既設排水機場の改修や更新を行い、保全対策を進める。 | |
| | 30102040 | | 66,254,613 | 1 産業振興部 農政課 | | | | |
| | たん水防除促進事業 | | 2,625,181 | 2 山田 正勝 | | | | |
| | | | 26,088,880 | 3 高い | | | | |
| | | | 22,490,970 | 4 高い | | | | |
| 3,597,910 | 5 高い | | | | | | | |
| 7 | 農業の振興 | 農業の生産性の向上、災害防止及び国土の保全を図るため、道路、排水路、その他の土地改良施設の整備を行う。また、土地改良区が事業主体の単県土地改良事業、単独土地改良事業の支援する。 | 39,714,559 | 事務事業評価 | | 土地改良区が計画する土地改良施設の整備について、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して整備対象施設を選定する必要がある。 | 緊急性及び必要性を考慮し、稲場揚水機補修工事などの土地改良施設の整備事業を支援した。 | |
| | 30102060 | | 35,323,270 | 1 産業振興部 農政課 | | | | |
| | 土地改良施設整備事業 | | 4,391,289 | 2 山田 正勝 | | | | |
| | | | 33,139,574 | 3 高い | | | | |
| | | | 30,411,976 | 4 高い | | | | |
| 2,727,598 | 5 高い | | | | | | | |
| | | | | | | 改善の効果 | 高い | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ) |
|----|----------|---|-------------|-------------------|-----------|---------|---------|---------|---|--|--|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | |
| | 事務事業名 | | R3決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | | | |
| | | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | |
| | | | 内 人件費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | |
| 8 | 農業の振興 | 土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。 | 5,559,122 | 事務事業評価 | | | | | 土地改良施設の維持を目的とした施設の改修・修繕を迅速に且つ計画的に実施する必要がある。 | 土地改良施設の維持管理に必要な補修等を行い、施設の適切な管理を行った。 | 土地改良施設の機能が最大限発揮されるよう施設維持管理に努める。 |
| | 30102090 | | 3,661,900 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 1,897,222 | 2 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 13,877,204 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 9,308,802 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 4,568,402 | 5 高い | 高い | 高い | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 9 | 農業の振興 | たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。 | 38,439,741 | 事務事業評価 | | | | | 排水機場の機能を適正に維持し、施設の長寿命化を図るため、計画的にオーバーホール等を実施する必要がある。 | 緊急的に修繕が必要になった夕川第一排水機場の注水ポンプ取替工事、青尾新田排水機場の水中ポンプ取替工事、田原第二排水機場の蓄電池取替工事を県費補助事業で、田原第二排水機場の除塵機整備工事を適正化事業で実施した。 | 愛知県土地改良事業団体連合会が行う土地改良施設維持管理適正化事業等により、排水機場の計画的な改修に努める。また突発的に発生する故障等の緊急的な修繕については、愛知県と調整しながら県費補助を活用し対応する。 |
| | 30102100 | | 30,819,005 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 7,620,736 | 2 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 53,166,773 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 46,358,633 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 6,808,140 | 5 高い | 高い | 高い | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 10 | 農業の振興 | 地区開発による流出量の増加により水路能力が不足し、農地のたん水被害を引き起こしているため、排水路を改修し、災害を未然に防止することにより地域産業の振興を図る。 | 24,755,039 | 事務事業評価 | | | | | 県営事業で整備する排水路、排水機場等の事業に対して、地元等と調整し、事業の推進を図る必要がある。 | 県営事業で整備する六号排水路の改修を行うにあたり、地元等と調整し、事業の円滑化を図った。 | 農作物の、たん水被害を未然に防ぐため、愛知県・地元等と調整し、排水路及び橋梁箇所等の改修を進める。排水路の改修時に近接する畑地所有者との調整を行い、事業の早期実現を図る。 |
| | 30102120 | | 22,254,867 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 2,500,172 | 2 山田 正勝 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 12,172,579 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 9,099,804 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 3,072,775 | 5 高い | 高い | 高い | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 11 | 農業の振興 | 土地改良施設(海岸樋門)の適正管理を図り、小規模災害等に対応可能とするため、施設の維持管理を行う。 | 2,434,730 | 事務事業評価 | | | | | ・老朽化した施設の補修等を行い、災害に対応可能な施設を維持する必要がある。 ・農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門等の操作確認を行い、管理委託する際に操作員に対しての十分な指導が必要である。 | ・樋門等の操作方法の確認、指導等を行ったことで警報発令等の緊急時に対応することができた。 ・老朽化した施設の改修を行い、施設の機能向上を図ることができた。 | 緊急時において適切な対応が可能となるように、自治会等管理委託者に対し、施設の操作方法の指導を強化していく。また、施設の老朽化に伴い、改修等も随時検討する。 |
| | 30102140 | | 527,627 | 1 渥美支所 地域課 | 小久保 義則 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 1,907,103 | 2 小久保 義則 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 13,316,692 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 11,312,336 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 2,004,356 | 5 高い | 高い | 高い | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 12 | 農業の振興 | 排水機の運転に支障をきたさないように、定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設の修繕等を行い、施設の機能を維持し、たん水被害の防止、農業経営及び生活の安定を図る。 | 92,304,796 | 事務事業評価 | | | | | 施設の機能維持、延命のための定期的な保守点検及び機器等の修繕が必要である。また、塩害等による不具合箇所もみられるため、保守点検の強化を図り、大規模修繕とらないような対応が必要である。 | 定期的な保守点検及び老朽化や塩害等で不具合が生じたり、故障した機器等の取替及び修繕を実施し、施設の機能向上が図られ、農地等へのたん水被害が防止できた。 | 定期的な保守点検や機器等の修繕を実施、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。また愛知県土地改良事業団体連合会が行う土地改良施設維持管理適正化事業等により、計画的な改修に努め、突発的に発生する故障等の緊急的な修繕については、愛知県と調整しながら県費補助を活用し対応する。 |
| | 30102150 | | 82,913,189 | 1 渥美支所 地域課 | 小久保 義則 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 9,391,607 | 2 小久保 義則 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 64,382,819 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 54,898,863 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 9,483,956 | 5 高い | 高い | 高い | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 13 | 農業の振興 | たはら食育推進計画に基づき、市民、市や関係団体それぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。 | 3,320,112 | 事務事業評価 | | | | | 市民一人ひとりの健全な食生活実践のため、「体」「心」「環境」の三つの視点に沿った食育を推進する必要がある。 | ・「体」「心」「環境」の視点を生かし、持続可能な食育の推進をするために、たはら食育推進計画を改訂した。 ・田原市の野菜を使用したレシピの開発及び保育園、こども園での食育講座を開催するなど、市民へ食事の大切さを啓発した。 | たはら食育推進計画に基づき、市民等が実施する食育活動を支援するとともに、食育に関する情報提供に取り組み、市民の食育への理解を促進する。 |
| | 30103010 | | 300,000 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 普通 | 普通 | 普通 | | | |
| | | | 3,020,112 | 2 山田 正勝 | 普通 | 普通 | 普通 | | | | |
| | | | 4,789,319 | 3 普通 | 普通 | 普通 | | | | | |
| | | | 593,337 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | |
| | | 4,195,982 | 5 普通 | 普通 | 普通 | 改善の効果 | 高い | | | | |
| 14 | 農業の振興 | 農業公園として魅力ある施設を目指すとともに来園者の安全確保を図る。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場としての活用を図る。 | 101,259,056 | 事務事業評価 | | | | | 施設の老朽化が進み、改修等が必要な場所が多くなっている。コロナウイルス感染症の影響を受けつつも来園者数は回復傾向にある。安全対策を行いながら持続可能な運営を視野に入れ、魅力ある公園づくりを行う必要がある。 | ・マーケット利用者の利便性向上のため、駐車場整備(23台分増)を行った。 ・コロナウイルス感染症対策を行いながら各種イベントを開催するとともに、ぐるりんバスや赤塚山公園等との連携によるPRを行った。 ・魅力向上のためのリニューアルについて検討を進めた。 | 現在の施設を維持管理しながら、施設の長寿命化や魅力向上等、持続可能な公園運営を進めるため、民間活力の導入も視野に入れながらリニューアルを進める。 |
| | 30103020 | | 37,379,771 | 1 産業振興部 農業公園管理事務所 | 加藤 兼三 | 高い | 高い | 高い | | | |
| | | | 63,879,285 | 2 加藤 兼三 | 高い | 高い | 高い | | | | |
| | | | 117,849,333 | 3 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | | 47,831,583 | 4 高い | 高い | 高い | | | | | |
| | | 70,017,750 | 5 普通 | 普通 | 普通 | 改善の効果 | 高い | | | | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ) |
|----|-------------|---|-------------|---------------|------------|-----------|----------|---------|---|---|---|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 内 人件費 | 2 評価責任者氏名 | R3決算額(円) | 3 妥当性評価 | | | |
| 15 | 農業の振興 | 地域農業の活性化を図るため各種補助事業を実施するとともに、国内外への販路拡大、産地競争力の強化、地域農産物の普及啓発、先進技術の導入などに関する事業を実施することで地域農業の発展に寄与する。 | 367,814,769 | 事務事業評価 | | | | | 農業用ハウスの強靱化と栽培施設の整備及び機械の導入による農家の経営基盤の強化を図る必要がある。また、農産物の国内外における消費拡大を図る必要がある。 | 各種補助事業を活用した自然災害時における被害防止対策を進めるとともに、地域農業の基盤強化を図った。 ・国内外における販路拡大のため、花きの活用拡大の取組み及び農産物の消費拡大プロモーションを実施した。 | 国庫補助事業や県補助事業の活用による経営基盤の強化を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響に対応しつつ、国内外における農産物販売プロモーションに取り組み、販路の拡大を目指す。 |
| | 30104010 | | 326,873,878 | 1 産業振興部 農政課 | 40,940,891 | 2 山田 正勝 | | | | | |
| | 208,201,134 | | 3 高い | 169,266,340 | 4 高い | | | | | | |
| | 38,934,794 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 16 | 農業の振興 | 国の米政策に基づき、田原市地域農業再生協議会を通じて主食用米の生産数量目標の配分や情報提供等を行い、米の需給及び価格の安定と水田の有効利用を図る。 | 23,848,472 | 事務事業評価 | | | | | 主食用米の需給バランスを保つため、飼料用米等の栽培の取組を支援するとともに、「水田収益力強化ビジョン」に基づく地域振興作物等の生産を支援する事で食料自給率の向上を図っている。 | 水稻生産出荷計画書の郵送の際、制度の周知を図るとともに、制度加入の受付会を開催し、主食用米以外の作物の栽培を推進した。 | 主食用米の需給バランスを保ちつつ、食料自給率の向上を図る。 |
| | 30104020 | | 3,027,000 | 1 産業振興部 農政課 | 20,821,472 | 2 山田 正勝 | | | | | |
| | 17,066,611 | | 3 高い | 2,521,000 | 4 高い | | | | | | |
| | 14,545,611 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 17 | 農業の振興 | 畜産の伝染病は、発生農家はもとより産地として大きなダメージに繋がる。家畜の法定伝染病等の自衛防疫を促進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。 | 13,216,238 | 事務事業評価 | | | | | 伝染病は一度発生すると容易に他へ感染してしまうことから、市内畜産農家が同じ危機意識を持って防疫対策に一丸となって取り組む必要がある。畜産農家によって意識や対応に差異があるため、より一層の防疫意識の高揚を図る必要がある。 | 家畜伝染病予防のため、ワクチンや防疫資材の購入の補助を実施し、田原市家畜防疫対策協議会の活動を支援することで、農家に防疫の重要性の啓発を図った。 | 伝染病予防は畜産農家の自己防疫が要となるが、農家個々のレベルアップのため田原市家畜防疫対策協議会を支援し、農家の防疫意識の高揚を図る。豚熱をはじめ各種伝染病のリスクも高いことから、これまで以上に家畜伝染病が市内で発生しないよう対策、防疫強化、支援強化を図る。 |
| | 30104030 | | 9,431,898 | 1 産業振興部 農政課 | 3,784,340 | 2 山田 正勝 | | | | | |
| | 14,499,034 | | 3 高い | 9,940,127 | 4 高い | | | | | | |
| | 4,558,907 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 18 | 農業の振興 | 農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業者の生涯所得の充実を図る。 | 3,770,365 | 事務事業評価 | | | | | 農業者の老後のために、農業者年金の給付に関する諸届受付を行い、老後の生活の安定及び福祉の向上を図っている。 ・農業者の生涯所得の充実に向け、より多くの加入者確保をめざし農業者年金制度の周知徹底を図る必要がある。 | 農業委員会だよりへのPR記事掲載、農業委員等を対象とした研修会・会議の参加者や認定農業者へチラシの配布等を行い、制度の周知を図った。加入は任意であるが、あらゆる機会において制度の周知を実施した。 | 広報誌への記事の掲載やチラシの配布等、制度の周知を図るためにJAと連携を図りながら継続的に実施していく。加入の推進役を担う農業委員等を対象とした研修会を実施し、旧制度との相違点や特徴、メリット等を説明できる人材を育成しながら、対象となる農業者に推進していく。 |
| | 30104040 | | 245,857 | 1 農業委員会事務局 | 3,524,508 | 2 河合 欽史 | | | | | |
| | 5,110,085 | | 3 普通 | 204,605 | 4 普通 | | | | | | |
| | 4,905,480 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 19 | 農業の振興 | 畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関係する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。 | 15,168,802 | 事務事業評価 | | | | | 畜産業は、施設整備、機械導入、素畜導入費等が高額であり経営維持だけでも大変な状況である。さらに、近年飼料・牧草が高騰が著しく、畜産農家経営を圧迫している。そのため、本市の重要な産業である畜産業の安定経営を図る必要がある。 | 後継牛の確保、死亡牛の処理、酪農ヘルパー利用組合に対する補助を通じて、畜産農家の経営安定化を図った。 | 畜産農家の安定的な経営を支援するため、市独自の補助事業を実施するとともに、国庫補助事業等を活用した経営基盤強化の取組を支援する。 |
| | 30104050 | | 10,454,480 | 1 産業振興部 農政課 | 4,714,322 | 2 山田 正勝 | | | | | |
| | 10,127,774 | | 3 高い | 7,893,000 | 4 高い | | | | | | |
| | 2,234,774 | | 5 高い | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 20 | 農業の振興 | 地域農業の持続的な発展のため、田原農業改良普及課等と連携し、新規就農支援等による新たな担い手の確保・育成を推進するとともに、多様な担い手の育成を図る。 | 25,818,544 | 事務事業評価 | | | | | 新規就農支援業務は、体制を整備し、愛知県農業起業支援ステーション、田原農業改良普及課と連携し相談対応、制度活用による就農に至るまでの継続支援を実施している。 | 新規就農相談は、愛知県との連携により、相談対応が円滑に実施できた。 ・コロナ禍の影響で、新農業人フェア等、新規就農希望者の誘致活動は実施できなかった。 | 愛知県やJA等との緊密な連携により情報共有を図り、新規就農者の確保・育成を推進するとともに、新規就農者の支援を行う。 ・新たな担い手を確保・育成するため、新規就農希望者の誘致活動を実施する。 |
| | 30105010 | | 10,176,981 | 1 産業振興部 営農支援課 | 15,641,563 | 2 中神 嘉彦 | | | | | |
| | 20,762,412 | | 3 高い | 4,199,217 | 4 普通 | | | | | | |
| | 16,563,195 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 21 | 農業の振興 | 農業生産における化学肥料、農業資材、農業等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。 | 53,558,320 | 事務事業評価 | | | | | 安心安全な農産物の供給は、全国有数の農業の推進に欠かせないものであり、環境に配慮した生産者の取組を更に広げる必要がある。 ・農業用廃プラスチック処理費が全国的に高騰している。 ・有害鳥獣による農作物被害の減少を図る必要がある。 | 農業や化学肥料に頼らない農業、使用済農業資材の適正処理等、農協等の活動へ補助金による支援を実施し、安心・安全な農作物の提供に寄与した。 ・農作物被害の減少を図るため、有害鳥獣駆除を実施した。特にイノシシ対策は国・県の交付金の確保を行い捕獲促進を図った。 | 環境に配慮した農業へのJA等の取り組みに対し、現行方法の検証と新たな支援策を模索し、効果的な支援を実施する。 瀬美半島の野生イノシシの根絶を目指し、愛知県等関係機関と協力し捕獲を促進する。 |
| | 30106020 | | 45,554,094 | 1 産業振興部 農政課 | 8,004,226 | 2 山田 正勝 | | | | | |
| | 43,440,620 | | 3 高い | 38,789,796 | 4 普通 | | | | | | |
| | 4,650,824 | | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ) | | |
|----|------------|--|------------|---------------|-----------|---------|---------|---------|--|--|--|--|----|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| | 事務事業名 | | R3決算額(円) | | | | | | | | | | |
| | | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| | | | 内 人件費 | | | | | | | | | | |
| 22 | 農業の振興 | 畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずること、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な振興を図る。 | 972,043 | 事務事業評価 | | | | | 畜産業に由来する環境問題に対応するため適切なふん尿処理等が必要であるが、畜産農家にとって設備投資は大きな負担となっている。 | 家畜ふん尿処理施設の改修等について補助金による支援を行い、環境問題の改善がされるとともに、農家負担の軽減が図られた。 | 家畜ふん尿処理施設の改修等への支援を継続実施し、環境問題(野糞み、排水対策、臭気問題等)を未然に防ぐ。 | | |
| | 30106030 | | 122,000 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 普通 | 普通 | 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | | | 850,043 | 2 山田 正勝 | 普通 | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 2,686,986 | 3 普通 | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | 高い | |
| | | | 369,000 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 2,317,986 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |
| 23 | 水産業の振興 | 水産物の安定供給を目指し、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。 | 1,490,697 | 事務事業評価 | | | | | 水産資源の定着は、潮流や海水温の変化などにより、大きく左右される一面があるが、資源の枯渇を防ぐため、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換が必要である。特に、アサリについては、漁業協同組合と協力のうえ、水揚げの増大に繋がる対策を行う必要がある。 | 水産資源の確保と定着を図るため、稚魚(メバル、カサゴ、ヒラメ)を購入し、漁場へ放流した。アサリ稚貝放流事業については、田原地区のみ予定していたが、漁業協同組合の意向により実施しなかった。 | 「育てる漁業」を推進するため、魚類放流事業は引き続き実施する。アサリについては、漁業協同組合の判断を尊重し、必要な支援を行う。 | | |
| | 30201010 | | 115,000 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 高い | 普通 | 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | | | 1,375,697 | 2 山田 正勝 | 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 1,290,801 | 3 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | 高い | |
| | | | 115,000 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 1,175,801 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |
| 24 | 水産業の振興 | 漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るため「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。 | 4,237,269 | 事務事業評価 | | | | | 漁業協同組合が所有する財産の多くは、老朽化等で更新の時期を迎えており、漁業生産力を維持・向上させるためには、継続的な支援が必要である。 | 漁業協同組合が、漁業生産力を強化するため行い、衛生管理強化や就労環境改善などの取組に対して支援を行った。漁業者や漁業関係団体が漁場環境の改善を図るために行う取組(耕うん、清掃活動等)に対して支援を行った。 | 漁業協同組合が漁業生産力の維持・向上のため行う取組を継続的に支援する。漁業者や漁業関係団体が漁場環境の改善を図るために行う取組(耕うん、清掃活動等)を継続して支援する。 | | |
| | 30202010 | | 1,320,275 | 1 産業振興部 農政課 | 山田 正勝 | 高い | 普通 | 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | | | 2,916,994 | 2 山田 正勝 | 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 12,715,942 | 3 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | 高い | |
| | | | 7,428,042 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 5,287,900 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |
| 25 | 水産業の振興 | 市の管理する姫島、宇津江、伊川津漁港施設の維持管理を適正に行う。 | 14,748,411 | 事務事業評価 | | | | | 指定管理による円滑な維持管理を行うとともに、既に策定済の姫島漁港、伊川津漁港機能保全計画に加え、新たに宇津江漁港機能保全計画を策定した。 | 利用者が安心・安全に使用できる漁港を目指し、指定管理者制度を活用した維持管理を継続する。また老朽化の進む漁港施設については、漁港機能保全計画に基づき計画的な修繕を行うことで、安全の確保を図る。 | | | |
| | 30203040 | | 10,772,755 | 1 都市建設部 維持管理課 | 小谷 生典 | 高い | 高い | 普通 | | | 改善の効果 | 高い | |
| | | | 3,975,656 | 2 小谷 生典 | 高い | 高い | 普通 | 改善の効果 | | | | | 高い |
| | | | 15,203,838 | 3 高い | 高い | 普通 | 改善の効果 | | | | 高い | | |
| | | | 11,033,111 | 4 高い | 高い | 普通 | | | | | | | |
| | 4,170,727 | 5 普通 | 高い | 普通 | | | | | | | | | |
| 26 | 工業の振興 | 時代や状況変化に応じた新技術の実証事業や新素材の開発、安定供給に取り組む企業等と連携し、本市の新たな企業集積を誘導する基礎作りを行う。 | 2,811,846 | 事務事業評価 | | | | | 世界経済等の動向を見据え、新たな産業の誘導を図ることで、継続的な雇用や税収による安定を目指す。時代の変遷に求められる新技術の開発や実証事業に取り組む企業、専門機関等から情報収集を行い、本市に新たな産業や企業の集積を誘導する取り組みを行う。 | 先進的な取組を行う企業と意見交換の場を設定し、本市への立地誘導、地域産業への導入の可能性を探った。 | | 引き続き新規企業立地につながるよう、企業訪問や各方面からの情報収集に努め、実証事業の誘導、その後の実装につながるよう、企業間及び対行政との調整役を担いサポートする。 | |
| | 30301010 | | 557,600 | 1 企画部 企業立地推進室 | 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | | | 改善の効果 | | 普通 |
| | | | 2,254,246 | 2 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 3,305,297 | 3 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | 普通 | | |
| | | | 494,000 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 2,811,297 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |
| 27 | 工業の振興 | 本市の産業振興と地域活力を推進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。 | 13,045,057 | 事務事業評価 | | | | | 東日本大震災以降、企業の新規立地は臨海部の工場分譲地を避ける傾向に変化はないが、臨海部への立地が必要(海上輸送等)な企業を求め、引き続き地道な企業訪問等を通じた誘致活動が必要である。 | コロナ禍においてWEBを活用し面談の機会を設け、産業動向の把握や用地情報の発信に努めた。立地検討企業に対して、対行政や諸団体等との調整役を担い、安心して立地いただくサポート業務に努めた。 | | 引き続き企業との面談機会を設け、企業ニーズ等情報収集に努めるとともに、市内立地企業、分譲地、港湾整備等の情報を発信し、新規企業の誘致に努める。立地検討を行う企業が、安心して事業決定がされるよう、引き続き調整役を担いサポートする。 | |
| | 30301020 | | 1,635,028 | 1 企画部 企業立地推進室 | 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | | | 改善の効果 | | 普通 |
| | | | 11,410,029 | 2 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 15,041,519 | 3 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | 普通 | | |
| | | | 1,453,548 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 13,587,971 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |
| 28 | 工業の振興 | 田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。 | 14,318,476 | 事務事業評価 | | | | | 企業立地奨励金により、進出企業の初期投資、拡張投資を支援している。近隣市と比較し支援内容の拡充を検討する。田原臨海企業懇話会による幹線道路改善活動、企業防災力の強化に取り組む諸活動を支援しながら、立地企業が操業し易い環境づくりに取り組む必要がある。 | 奨励金制度の要綱を見直し、押印廃止等、手続きの簡易化を図った。なお支援内容の見直しについては、拡充の要否も含めて継続検討。昨年度に引き続き、コロナ禍で懇話会活動は休止状態であった。 | | 引き続き、市奨励金制度により新規立地、事業拡大の初期投資に対し支援する。支援内容の拡充についても検討する。田原臨海部立地企業の生産性の向上を図るため、道路、港湾等整備促進活動に努めるとともに、企業防災力の維持に努める。 | |
| | 30301030 | | 6,022,660 | 1 企画部 企業立地推進室 | 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | | | 改善の効果 | | 普通 |
| | | | 8,295,816 | 2 山田 達也 | 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | | |
| | | | 10,161,344 | 3 高い | 普通 | 普通 | 改善の効果 | | | | 普通 | | |
| | | | 6,021,000 | 4 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | |
| | 4,140,344 | 5 普通 | 普通 | 普通 | | | | | | | | | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ) | | |
|----|------------------|--|-------------|-----------------|-----------|---------|---------|---------|---|--|--|-------|----|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| | 事務事業名 | | R3決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | | | | | |
| | | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| | | | 内 人件費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| 29 | 工業の振興 | 重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。 | 11,540,402 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 行政、各種団体、事業者で構成する三河港振興会を中心に、地域全体で港湾機能の整備促進、利用促進を図り、地場産業の振興を図っている。 田原公共ふ頭-10m整備の早期着手を目指し、田原公共ふ頭を利用する企業の誘致や、具体的な事業等の誘導が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 三河港の利用促進を図るため、ポートセミナーを企画するも、コロナ禍で実施に至らず。 田原公共ふ頭-10m整備の実現を図るため、国・県に対する要望活動を行うとともに、新規岸壁利用の可能性を探った。 | <ul style="list-style-type: none"> 三河港振興会を中心にポートセールス、ポートセミナーを実施することで、三河港の利用促進を図る。 田原公共ふ頭-10m整備の早期実現に向けて、具体的な事業誘導に努める。 | | |
| | 30302010 | | 2,127,760 | 1 企画部 企業立地推進室 | 山田 達也 | 2 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 普通 |
| | 三河港振興事業 | | 9,412,642 | 2 山田 達也 | 山田 達也 | 2 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 13,050,071 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 2,280,940 | 4 普通 | | | | | | | | | |
| | 10,769,131 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 30 | 商業の振興 | 商工業の振興を図るため、中小企業者が運転資金等を円滑に確保できるよう、愛知県と協調して市内11店舗の金融機関に資金を預託するとともに、融資を受けた際の利子補給を行う。また、6次産業化・農商連携を積極的に推進することで、地域産業の活性化を図る。 | 133,680,583 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響を受ける中小企業者の経営を維持するため、多面的な支援をする必要がある。 地域経済の持続性を高めるため6次産業化の推進、地域産品のブランド化を図る必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 田原市中小企業活性化支援センターの運営を田原市中小企業活性化協議会に委託し、中小企業を総合的に支援し、活力向上につなげた。 渥美半島たはらブランドプレミアム商品5件を新たに認定した。 | <ul style="list-style-type: none"> 後継者不在により廃業となる中小企業者を減らすため事業承継に対する支援を図る。 地域産業のすそ野を広げるため、地域の農畜水産業と食料産業と飲食業をはじめとした様々な産業の連携を図り、新たな商品、販路等を創出する。 | | |
| | 30401010 | | 117,066,315 | 1 産業振興部 商工観光課 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | 中小企業活性化支援事業 | | 16,614,268 | 2 杉浦 清明 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | |
| | | | 107,053,580 | 3 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 97,264,922 | 4 高い | | | | | | | | | |
| | 9,788,658 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 31 | 商業の振興 | 中心市街地の賑わい創出を図るため、田原市中心市街地活性化基本計画に記載の各種事業等を実施する。 | 23,935,973 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 田原市中心市街地活性化基本計画の計画期間終了に伴い、今後は田原市街地まちづくりビジョンの実現に向けて、事業に取り組む必要がある。 民間主体の賑わいを創出する取り組みを進展させるため、中心市街地活性化を担う人材の発掘、育成への支援が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 「まちなか賑わいづくり」事業を支援し、田原中学校や地域等と連携した新たな取り組みに発展させることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> (令和4年度から田原地区まちづくり事業に統合) 活性化を担う人材の発掘、育成に向けて、活動の支援を継続する。 田原市街地まちづくりビジョンの実現に向けて、関係者と連携しながら取組を進めていく。 | | |
| | 30402010 | | 16,144,659 | 1 都市建設部 街づくり推進課 | 大羽 剛 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | 中心市街地活性化推進事業 | | 7,791,314 | 2 大羽 剛 | 大羽 剛 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | |
| | | | 21,566,463 | 3 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 14,367,759 | 4 高い | | | | | | | | | |
| | 7,198,704 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 32 | 商業の振興 | セントファールを適正に維持管理することで、訪れる利用客の利便を図る。 | 35,467,294 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> オープンから17年が経過したことで、経年劣化や故障が見られるため、修繕計画を立て、順次対応が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の舗装などの修繕を行い、利用者の安全性の向上に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 長期的な修繕計画を作成し、施設の長寿命化、修繕費等の平準化を図る。 施設運営している(株)あつまるタウン田原と連携し、利用者の利便性や安全性の向上を図る。 | | |
| | 30402020 | | 31,015,212 | 1 産業振興部 商工観光課 | 杉浦 清明 | 2 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 普通 |
| | セントファール管理運営事業 | | 4,452,082 | 2 杉浦 清明 | 杉浦 清明 | 2 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 36,438,241 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 33,121,205 | 4 普通 | | | | | | | | | |
| | 3,317,036 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 33 | 商業の振興 | 市内中小企業者の経営の改善を図るため、その指導機関である田原市商工会及び渥美商工会に対して助成を行い、中小企業者の指導育成を行う。また、安全で快適な環境を保つとともに、中心市街地の活性化を図る目的を以って、街路灯の維持管理費や商店街の催事、共同宣伝への助成を行う。 | 105,308,204 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業者支援のため商工会の経営支援機能の向上が必要となっている。 現状では田原・渥美の2つの商工会、カード事業組合があり、それぞれの活動に差異がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 田原市共同商品券事業協議会と調整し、約半数をデジタルとするプレミアム付商品券の発行事業への補助を行い、外出自費や休業要請等により影響を受けている飲食店・宿泊施設に対し、市内消費を喚起した。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政ポイントの発行等、たまカードの活用方法を田原カード事業組合および渥美カード事業組合と検討し、利用促進を図る。 田原市商工会・渥美商工会の将来的な一体化の機運を醸成するため、共同事業の実施等を検討する。 | | |
| | 30403010 | | 101,889,148 | 1 産業振興部 商工観光課 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | 商業団体支援事業 | | 3,419,056 | 2 杉浦 清明 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | |
| | | | 95,719,570 | 3 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 88,176,996 | 4 高い | | | | | | | | | |
| | 7,542,574 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 34 | 観光の振興 | 田原市内における観光事業を推進することで、国内外からの誘客を図る。また、地域間交流の拡大と広域観光の推進を図るため、愛知県観光協会、東三河広域観光協議会等に参画する。 | 36,405,419 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> アフターコロナを見据えた観光施策を検討し、誘客効果を高める必要がある。 観光客受け入れ体制づくりのため、観光事業に携わる人材育成を図る必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 伊良湖温泉の誘客効果を最大限に活用するため、温泉資源を活用したプロモーション業務、温泉サミットを開催し、全国へPRを図った。 観光事業者等を対象にまちづくり実践塾を行い、新しいビジネスプランの創出支援を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> 温泉を核とした田原市の新たな観光モデルを造成し、ウェルネスツーリズムの推進を図る。 観光事業者等を対象に、ワーキングを継続開催する。 | | |
| | 30501010 | | 16,037,250 | 1 産業振興部 商工観光課 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 高い |
| | 観光推進事業 | | 20,368,169 | 2 杉浦 清明 | 杉浦 清明 | 2 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | |
| | | | 74,979,500 | 3 高い | 4 高い | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 42,815,169 | 4 高い | | | | | | | | | |
| | 32,164,331 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |
| 35 | 観光の振興 | 道の駅(田原めつくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)及び三河田原駅(交流ひろば)を適正に管理運営することで、田原を訪れる観光客の利便を図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。 | 29,334,259 | 事務事業評価 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> オープンから29年が経過したことで、施設と機械類の老朽化が進み、今後改修等に要する費用が増加傾向にある。 観光客及び市民に対し道の駅の新たな魅力付けを検討していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 田原めつくんはうす、あかばねロコステーションで発生している雨漏りの原因調査を行い、指定管理者とともに応急修繕を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 あかばねロコステーションは、令和4年度から令和5年度にかけて外装改修工事を行い、今後の漏水や強風による施設改修の費用を軽減する。 | | |
| | 30502010 | | 21,712,365 | 1 産業振興部 商工観光課 | 杉浦 清明 | 2 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | 改善の効果 | 普通 |
| | 観光情報サービスセンター運営事業 | | 7,621,894 | 2 杉浦 清明 | 杉浦 清明 | 2 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 17,208,242 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 6,962,178 | 4 普通 | | | | | | | | | |
| | 10,246,064 | 5 普通 | | | | | | | | | | | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ) | | |
|----|----------------|--|-------------------|---------------|-----------|---------|---------|---------|--|--|--|--|--|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 2 評価責任者氏名 | 3 妥当性評価 | 4 有効性評価 | 5 効率性評価 | | | | | |
| | 事務事業名 | | R3決算額(円) | | | | | | | | | | |
| | | | 内 直接事業費 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 内 人件費 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | 改善の効果 | 普通 | | | |
| 36 | 観光の振興 | 太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、平成6年4月に建設した蔵王山展望台施設(鉄骨造4階建)、及び展望台周辺の園地等の適正な管理運営を実施する。 | 31,753,440 | 事務事業評価 | | | | | ・オープンから27年が経過し、施設と機械類が老朽化しているため、計画的な改修が必要となっている。 | ・映像機器等の保守点検等により適正な管理運営を実施した。 | ・施設内の不具合か所の優先順位を決め、修繕や更新を計画的に進めていく。 ・今後、展望台の大規模修繕や建て替えなどの方向性の検討を行っていく。 | | |
| | 30502020 | | 29,730,363 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 2,023,077 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 蔵王山展望台運営事業 | | 22,862,616 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 20,423,923 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 2,438,693 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 37 | 観光の振興 | 環境対策のシンボルとして、平成13年に蔵王山展望台に整備した風力発電施設(定格出力300KW、想定発電電力65万KWh)が正常に稼動するよう適正な維持管理を実施する。 | 6,267,407 | 事務事業評価 | | | | | 風力発電施設の老朽化が進行しているため、解体する。 | 風力発電施設の耐用年数が経過し、老朽化により維持管理が困難なことから解体撤去を行った。 | 風力発電施設を解体したことで、事業は終了した。 | | |
| | 30502030 | | 5,063,676 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 1,203,731 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 蔵王山展望台風力発電運営事業 | | 22,725,490 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 21,284,647 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 1,440,843 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 38 | 観光の振興 | 城下町文化の粋である山車・けんか凧を展示紹介する田原まつり会館を適正に管理運営することで、田原の伝統文化である田原祭り、田原凧のPRを図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。 | 6,728,340 | 事務事業評価 | | | | | ・山車収蔵庫の大扉の建てつけの悪化や空調機器の老朽化など、施設の経年劣化に伴う計画的な改修が必要となっている。 ・施設の効果的なPRを実施し、利用客の増加を図る必要がある。 | ・雨漏りの修繕を行い、施設環境の向上を図った。 ・たはら巡り~なを通じたモニターツアーや、観光商談会等でPRL、団体客等利用客の増加を図った結果、前年比105%の増であった。 | ・山車収蔵庫の大扉や空調機器等について計画的な改修を行う。 ・外国人旅行者に対する館内表示や動画資料等の多言語化を実施する。 | | |
| | 30502040 | | 2,979,369 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 3,748,971 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 田原まつり会館運営事業 | | 6,565,109 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 2,833,765 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 3,731,344 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 39 | 観光の振興 | サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。 | 7,260,461 | 事務事業評価 | | | | | ・オープンから11年が経過し、海岸そばの立地条件より施設の老朽化が進んでいる。今後改修等に要する費用が増加傾向にある。 ・日本有数のサーフスポットとして、より魅力のある施設にするための検討を行う必要がある。 | ・施設内に砂が入らないようにガラリ等を塞ぎ、施設が常に清潔になるよう改修を行った。 | ・計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 ・2026年のサーフィンアジア大会に向けて施設改修を行い、魅力を向上させる。 | | |
| | 30502050 | | 5,118,491 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 2,141,970 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | ロングビーチ管理棟管理事業 | | 6,802,207 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 5,268,438 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 1,533,769 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 40 | 観光の振興 | 観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。 | 29,590,301 | 事務事業評価 | | | | | ・観光トイレなどの施設は、海岸そばの立地条件より施設の老朽化が進んでいる。今後改修等に要する費用が増加傾向にある。 ・施設の改修に向けて必要の有無や施設規模の検討を行う必要がある。 | ・施設点検を行い、修繕計画を立案し、優先度の高い項目から修繕を行った。 ・大草海岸公衆便所引込柱修繕 ・城宝寺公衆便所トイレ浮き修繕等 | ・計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 ・施設の改修に向けて必要の有無や施設規模の検討を行う。 | | |
| | 30502060 | | 27,230,045 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 2,360,256 | 2 杉浦 清明 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 観光地維持管理事業 | | 30,233,229 | 3 普通 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 27,239,669 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 2,993,560 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 41 | 観光の振興 | 田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。 | 98,911,734 | 事務事業評価 | | | | | ・本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。 | ・温泉湯湯設備工事を完了し、温泉の水質改善方法や薬品投入量を定めた。 ・温泉施設をより利用しやすくするために、看板の設置、照明や防犯カメラの設置工事を行った。 | ・令和4年度の伊良湖クリスタルボルトの購入に伴い、施設の適切な整備・改修計画を行い、本市観光の魅力を高めていく。 | | |
| | 30502070 | | 92,324,000 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 6,587,734 | 2 杉浦 清明 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 観光施設整備事業 | | 73,714,177 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 67,147,374 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 6,566,803 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| 42 | 観光の振興 | 魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。 | 65,779,507 | 事務事業評価 | | | | | ・本市の観光振興の中核を担う組織として自立化するために、安定した財源確保ができる体制へ支援するとともに、市からの補助金を減少していく必要がある。 ・アフターコロナに対応した組織や事業の方向性を定めていく必要がある。 | ・より柔軟かつ積極的な事業展開を図るために、組織の一般社団法人化を行った。 ・補助金内容の見直しを実施し、64,800千円(R2)から500,000千円(R3)へと減額を図った。 | 令和4年度から法人化し、より安定した財源確保を図る必要があるため、戦略ビジョン策定や収益事業検討など組織の改革・強化に向けた取組の支援を行う。 | | |
| | 30503010 | | 64,800,000 | 1 産業振興部 商工観光課 | 2 杉浦 清明 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | |
| | | | 979,507 | 2 杉浦 清明 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | |
| | 観光団体活動支援事業 | | 51,846,171 | 3 高い | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | |
| | | | 50,000,000 | 4 普通 | 5 普通 | | | | | | | | |
| | | 1,846,171 | 5 普通 | | | | | | | | | | |

| No | 施策名 | 事務事業の目的 | R2決算額(円) | 事務事業評価 | | | | | 事務事業の現状・課題 | 令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果 | 令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ) |
|-----------|--------------|--|-------------------|---------------|-------|-----------|----------|---------|---|---|--|
| | 事務事業コード | | 内 直接事業費 | 1 担当部課名 | 内 人件費 | 2 評価責任者氏名 | R3決算額(円) | 3 妥当性評価 | | | |
| 43 | 観光の振興 | 市民まつりを開催する田原市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。 | 2,384,899 | 事務事業評価 | | | | | ・新型コロナウイルス感染症対策を講じたイベントの実施方法や内容等を検討する必要がある。 | ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民まつりを実施することはできなかった。 | ・市民がより主体となって企画運営に参画する体制を構築する必要がある。 |
| | 30503020 | | 0 | 1 産業振興部 商工観光課 | | | | | | | |
| | 市民まつり支援事業 | | 2,384,899 | 2 杉浦 清明 | | | | | | | |
| | | | 5,076,085 | 3 普通 | | | | | | | |
| | | | 0 | 4 普通 | | | | | | | |
| 5,076,085 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| | | 改善の効果 | | 普通 | | | | | | | |
| 44 | 労働環境・消費生活の充実 | 市内に在住・在勤する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。 | 19,239,653 | 事務事業評価 | | | | | ・資金預託することで東海労働金庫が勤労者に資金融資をすることが円滑になる。 ・補助制度等は他市との均衡を図りながら実施している。 | ・引き続き、支援制度等の適正な運用に努めた。 | ・関係自治体とも調整を図りながら、補助制度の運用方法の見直し等に努める。 ・預託金については当面の動向を注視し、必要に応じ見直しを行う。 |
| | 30604010 | | 18,570,000 | 1 産業振興部 商工観光課 | | | | | | | |
| | 勤労者支援推進事業 | | 669,653 | 2 杉浦 清明 | | | | | | | |
| | | | 19,362,987 | 3 普通 | | | | | | | |
| | | | 18,585,000 | 4 普通 | | | | | | | |
| 777,987 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| | | 改善の効果 | | 普通 | | | | | | | |
| 45 | 労働環境・消費生活の充実 | 田原市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行うほか、求人企業の求人申込の受付を行うことにより、求人求職業務窓口の充実を図る。 | 2,993,360 | 事務事業評価 | | | | | ・高齢者や女性など新たな働き手の開拓が課題である。 ・地域の事業者の雇用を維持するため、中学生・高校生に対し、地域の事業者の魅力を紹介し、就職を促す必要がある。 | ・田原市地域職業相談室を通じて、コロナ禍における市民の安定した雇用機会の確保に努めた。 ・高校生を対象に地域の事業者の魅力を紹介するためのオンラインによる企業フェアを実施し、地元就職を促した。 | ・公共職業安定所と連携しながら、雇用状況の把握に努める。 ・学生を対象に地域産業や事業者等の魅力を紹介することで、地元就職を促す。 |
| | 30605010 | | 293,385 | 1 産業振興部 商工観光課 | | | | | | | |
| | 雇用推進事業 | | 2,699,975 | 2 杉浦 清明 | | | | | | | |
| | | | 4,660,960 | 3 高い | | | | | | | |
| | | | 1,389,404 | 4 普通 | | | | | | | |
| 3,271,556 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| | | 改善の効果 | | 高い | | | | | | | |
| 46 | 労働環境・消費生活の充実 | 地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。 | 4,996,083 | 事務事業評価 | | | | | ・消費者相談業務は、広域連合へ移行されている。東三河地域内でより専門的な知識を有する相談員を育成していくことが課題となっている。 | ・タブレットによるオンライン相談を可能とし、利用者にとって相談しやすい環境を整えた。 | ・専門的な知識を有する相談員による消費者相談業務を継続する。 ・判断力が不十分な高齢者、障害者等を消費者被害から防ぐため、地域の協議会と連携して消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)を構築し、活用していく。 |
| | 30606010 | | 2,802,789 | 1 産業振興部 商工観光課 | | | | | | | |
| | 消費者支援推進事業 | | 2,193,294 | 2 杉浦 清明 | | | | | | | |
| | | | 5,131,203 | 3 高い | | | | | | | |
| | | | 2,314,794 | 4 普通 | | | | | | | |
| 2,816,409 | 5 普通 | | | | | | | | | | |
| | | 改善の効果 | | 普通 | | | | | | | |